



きょうちくとう

〔編集・発行〕 広島市地域女性団体連絡協議会
〔発行責任者〕 吉岡 恭子
〔編集 担当〕 安佐南区女性会

〒730-0052 広島市中区千田町 1-9-43
TEL(082)243-3274 FAX(082)243-3270
ホームページ <http://cyberbb.com/hjd/>



日本赤十字社 広島県支部 創立 125 周年記念赤十字大会開催 広島市地域女性団体連絡協議会 会長 吉岡 恭子



7月3日(水)広島国際会議場フェニックスホールで開催されました。広島市女性赤十字奉仕団として広島市女性会は50名参加いたしました。名誉副総裁であられる高円宮妃殿下の御臨席の下、重々しく終始執り行われました。私たち女性会は式典のはじまる前、妃殿下が原爆慰霊碑に参拝され、歩いて会場に入られるところで拍手でお迎えするという大きな任務をいただき、会員一同感激致しました。妃殿下は2~3歩進んでは頭を下げられ「奉仕団の方ですか」と声をかけられながら進まれました。高円宮妃殿下のおことば、来賓の祝辞、体験発表と続き、そして午後はアニメ「ジュノー」上映と進みました。当県で日本赤十字大会は設立以来はじめてのことだそうで、その記念すべき節目に私たちが携わったと思うと感無量の気持ちでいっぱいです。私たち広島市女性赤十字奉仕団は常に奉仕の心がけで邁進したいものです。ここに印象に残っている前全国奉仕団委員長のお言葉を記しておきます。

「そよそよと、いつもどこかで風が吹いているように、いつもどこかの地域で赤十字奉仕団のワッペンをつけたボランティアが、さりげなく活動を行っている姿がみられることが私の理想です」。

岡山赤十字奉仕団交流会に参加して

中区本川女性会 田中八重子

6月12日(水)に中区千田町日本赤十字社中四国ブロック広島県赤十字血液センターにおいて岡山赤十字奉仕団の皆様と交流致しました。まず、岡山の皆様と一緒に素晴らしく立派になっている血液センター内の見学をしました。1階は情報発信スペース赤十字プラザが設置されていました。また、中四国地方9県の検査業務を行う供給部門、品質部門、中国地方5県で献血した血液が集まったの製剤業務などに分かれていました。厳重な管理に驚きです。私たちが、献血運動の啓発を頑張らねばと感じました。昼食をはさみ、交流会です。奉仕団活動の難しさ、募金の減少など話し合いました。偶然にも、本川地区に親戚がお住まいだという方もおられ、原爆慰霊碑、平和についての話にまでおよびました。ともにこれからも頑張っていきましょうと誓い合い、おわかれいたしました。

鳥取市赤十字奉仕団の来訪交流

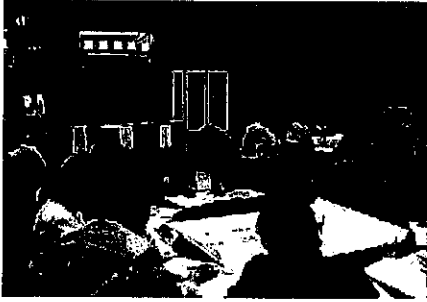
広島市地域女性団体連絡協議会

副会長 林 敬子

7月16日(火)に、日本赤十字社、中四国ブロック・広島県赤十字血液センターに、鳥取市赤十字奉仕団20名の方々が研修にこられ、広島市女連正副会長4名がお出迎えし、新社屋になった血液センターの見学終了後、献血活動、防災活動の内容などについて、情報交換をいたしました。

女性大会のご案内

日 時	平成 25 年 10 月 28 日 月曜日
	13 時 開催 (12 時 30 分 開場)
場 所	アステールプラザ 中ホール
講 師	林家ライス・カレー子
テーマ	環境漫才 ～思いは地球規模で・行動は足元から～
定 員	500 名



市女連会長 吉岡 恭子

6月13日(木)～14日(金)の2日間、京都市で開催されました。広島市からは正副会長3名、三委員長3名、行政1名参加いたしました。13日の午前中、理事会を開き政令都の事業報告、会計報告があり、午後より研究集会に移りました。昨年度広島で開催されました折には単位会長はもちろんのこと単位副会長にも出席していただきました。京都の女性会も単位の会長が多く出席しておられ、おもてなしの心で盛大に迎えていただきました。研究集会は3分科会に分かれてのワークショップ方式で参加者全員の意見が出しやすいように工夫されており、みなさん活発に発言しておられました。翌日は、3分科会の発表、まとめ、全体会での意見交換、環境家計簿の講評とすすみ有意義な2日間でした。

第1分科会 循環型社会の構築

委員長 向井 春代

環境問題では「循環型社会の構築」について、ワークショップ形式で話し合いが行われました。司会進行、記録係は京都市が担当されました。川崎、名古屋、大阪、広島、北九州市5班に別れ、次の3つの議題に沿って協議しました。

①各都市、地域での環境に関する取組 ②どの都市も共通し、日常無理なく取り組めるもの ③市民一人ひとりが取り組むには、どんな工夫が必要であるかなど…各都市、様々な取組に挑戦し、学習し、情報交換をしながら、成果が上がり確立できたもの、また企業や行政と連携し協働する体制がなく行き詰まっているもの、依然として課題も沢山抱えています。今年第60回目のテーマは「足元みつめて学びあい次世代へつなげる地域活動」言い換えれば60年前の、慎ましい暮らしを思い出し、衣食住、電気水道、光熱に対してほんの少し配慮し、「誰でも出来ることをみんな実践しよう」今年の申し合せ宣言でした。

第2分科会 男女共同参画社会の実現

男女共同参画委員会 委員長 田中武子

男女共同参画ではワークショップ形式をとり、グループにわかれて子どもの頃の自分達の生活が今とどのように変化しているか。また、各都市の取組の中で、今後さらに力を入れて取り組む事を話し合い、実践するための方法などを協議しました。その結果、防災の中での人権の取組や、未来ある子どもを守るために、児童虐待やDVの関心を高め理解することが重要である。広島市女連は、児童虐待の起こる要因や親の支援について学び、研修を重ねながら地域の子どもたちと親の支援の必要性を強く感じている。また、DV問題について学習し意識を高め、DV被害者支援のために募金活動を継続実施し、毎年シェルターに寄付を続けている。など、積極的に発表しました。「継続は力なり」

第3分科会 青少年育成問題・子育て支援

委員長 原田 慧子

第3分科会 青少年育成問題・子育て支援では、グループに分かれワークショップ方式で自分たちが子どもの頃、地域とのかかわりの中で、心地よかったことを思い出しながら、各都市の取組について協議しました。少子化や核家族社会の今、学校、家庭、地域の連携が大切であると、多くの意見が出ました。広島市女連では、「地域の子どもは、地域で育てる」を目標に活動し、地域の連携は徐々に定着しているのではと考えられると思う。挨拶運動や声かけなどにより、子どもたちとの関わりの中で日々の変化を早く感じとることで、小さな傷をはやくみつけられるように、見極める目を養うために、研修を重ねている。

また、広島市青少年支援メンター制度に登録し、年間の研修をかさね、子どもたちとかかわることで自分自身の資質も向上していると感じている。…と発表しました。

「傷口は小さいうちに！」

ごみゼロ・クリーンウォークに参加して

中区幟町女性会 好木恭江

6月9日(日)広島市ごみゼロ・クリーンウォーク「自分たちの町は自分たちできれいに」「ポイ捨てしてはいけんよ」をスローガンのもと、市民6,200名の参加で、20コースに別れ、中央公園までごみを拾いながら参加しました。中区女性会は、そごう前で、行政とともに通行人に「ごみゼロに協力ください」と声かけし、啓発をおこないました。街行く人も協力的で「私たちの町がきれいになればいいね。ご苦労様」と励ましのお言葉を頂きました。その後ごみを拾いながら中央公園に向かいました。中央広場には大勢の人たちが汗を拭きながら閉会式が行われるのを待っていました。ほんとうにご苦労さまでした。私が思うに最近年々ごみが少なくなっているように思われます。それだけ市内がきれいになったのではないのでしょうか。観光客の皆さまにもきれいな町を見てもらいたいものです。



祈りの日 8月6日

中区神崎女性会 升見敬子

猛暑の中、今年も68年目の朝が巡って来ました。一発の原子爆弾により、その全てを消し去られたあの日…死没者慰霊式典に神崎女性会4名毎年参列し、平和の鐘とともに黙禱をして死没者の御冥福を祈り、世界の恒久平和を念願しました。式典で感じたことは参列者が若者の多い事。以前はお年寄りが多数でしたが、時代の流れをひしひしと感じ感無量です。平和記念式典後、嵐の中の母子像供養に広島市女連の皆様と祈りを捧げ献花をし、「原爆を許すまじ」を歌い胸が熱くなりました。二人の幼子を守り嵐の中を突き進む、逞しい母の姿。生む力を持つ女性の強さを永遠に、そして未来へと繋げる。平和を世界へと訴える決意を新たに致しました。次に皆様と御一緒にマルセル・ジュノー博士記念碑に献花致しました。あの日を知っている広島空、絶望と怒りに満ちた空を思い出す…

夜8時からの献灯式に参列し、死没者の御冥福を祈り、絶対に許してはならない…核廃絶に取り組む未来のために祈り上げました。

ピース・アーチ ひろしま

安佐南区原南女性会 正木 美千子

平成25年7月27日(土)~8月3日(土)の8日間 *サンクンガーデン・武道場 *ハノーバー庭園・多目的広場 *クレドホール *広島グリーンアリーナ(大アリーナ)等の会場で「ピース・フィールド」が開催された。「ピース・フィールド」は、広島から世界へ平和のメッセージを強く発信し、NGO等の平和貢献活動を支援する仕組の構築を目指す「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト」の一環として平和貢献活動に取り組んでいる企業、NGO、NPO、各種団体などの協力を得て、官民連携のイベントとして開催されました。飢餓、貧困、疾病、災害、恵まれない子どもに対する取組や地球環境問題を共有し、参加企業やNGO、NPO、各種団体、来場者と手をつなぎ、世界へと発信していくイベントです。救護、授乳ボランティアとして参加して感じたのは、この素晴らしいイベントに来場者が少なくて残念でした。もう少し、広報をしっかりとって大勢の方に平和の交流イベント会場に足を運んで欲しかったと思います。



県外研修

東区中山女性会 君永多美子

6月28日、市女連研修で兵庫県加東市の「パナソニックエコテクノロジーセンター」を見学しました。家電製品(テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫)をリサイクルしている工場です。使用済み家電が手解体され、材料別に分類の後、破碎・磁力・風力・過電流・振動・比重などで選別され、各種金属・プラスチック等の資源として回収されていました。リサイクル技術の開発により多くの資源が高効率・高純度で回収され、再利用されているとのことでした。更なる技術開発とリサイクルしやすい商品づくりにより「循環型モノづくり」を推進していきたいと言われていました。家電製品リサイクル料は、このような費用に使われていることが理解出来、有意義な研修でした。私たち一人ひとりが、資源を大切に活用し尽くし、廃棄する物を減らすよう心がけなければ…と痛感した一日でした。

各区活動報告

良い環境を次世代へ

東区戸坂城山女性会 小田 瑞枝

ライブの和太鼓、唄の響きも宜しく、浴衣姿や今風の姿さまざま、大勢の老若男女が盆踊り大会を楽しみました。張り巡らされた提灯の下、女性会手作りの灯籠を手に手に行進門陣後、地面に。夜店や花火と、袖協を中心に、諸団体協力の元、趣向が凝らされ日本の情緒たっぷり。祖先の霊をお迎えする風習文化を次世代へ伝えていく地域の絆を感じました。こうした人的・文化的な環境だけでなく、脱温暖化に女性会でも力をそそいでいますよね。その一つとして、城山では、エコな調理研修を続けたり、環境家計簿を利用、資源の節約に努めたいと思っております。

女性会も大活躍

安佐北区三田女性会 野尻 トミ子

全国大会である「可部連山 トレ・イル・ラン in あさきた」が6月2日南原で小雨の中挙行されました。私たち女性会は腕のみせどころと張り切り一枚りのテンツウどん、むすび、ジュース、もみじ饅頭と広島のパクリ役かいました。500人位の参加で女性も勿論、中、高校生の姿もありました。山の尾根を走るのにランナーの勇姿は見ることは出来ませんでした。ゴールされる選手には、拍手で迎え「おつかれ様」「どこから来られました?」「来年も来てくださいね」と声を掛けました。私たちも山を駆けめぐったようなさわやかな気持ちのもてた一日でした。

舟入地区防災訓練に参加して

中区舟入女性会 山崎 和子

7月28日日曜日、9時より舟入小学校の体育館で約300名の皆さんと参加しました。朝から雨で参加するのは足元が悪く大変でしたが、雨のおかげで体育館の中は不快感もなく話を聞くことが出来ました。災害が起きた時を想定してのDVD上映、自分たちの非難場所の確認など、一人ひとりが防災に対する意識改革が出来ました。女性会10人でお湯を入れ約15分出来る非常食を皆さんと連携を取り、すばやく用意し参加者の皆様に食べて頂きましたが、お味の方はとても好評でした。改めて日常の近隣の交流の大切さを実感し、12時に無事修了しました。

もちつき大会

佐伯区砂谷女性会 長岡 幸江

毎年の事業の一つとして、湯来南小学校で子供たちと「もちつき大会」をします。田植から刈り入れまで子供たちがします。そのお米で餅をつきます。ヨイショ、ヨイショの掛け声で「おもしろいねえ」「むずかしいよ～」と言いながら、もちつきを楽しんでいます。丸める役の子供たちは「上手に出来たよ」「丸くならんよ～」などと会話が飛び交います。そのお餅で、お母さんたちがぜんざいや、きなこもちを作り、子供たちと一緒に美味しくいただきます。楽しく笑顔いっぱい交流でした。子供たちから元気とパワーをもらって帰ります。これからも、地域の方々や子供たちと手を取り合って、地道に細く長く活動し、その中から楽しみや喜びを花いっぱいさかせたいと思っています。

むかしあそびの伝承

西区南観音女性会 月村 佳子

南観音女性会は、小学校一年生に、毎年一月、体育館で「むかしあそび」を教えています。コマ・竹馬・めんこ・竹トンボ・おはじき・おじゃみ・あやとり・羽つき・おり紙等、子供たちと童心に返り楽しい二時間を過ごします。一生懸命学ぼうとする心に、上手に伝えたいという気持ちで応えます。なかなか出来ない子の悲しそうな顔、上手にできて得意そうな子、様々ですが、みんな頑張っています。紹介される時「～名人」と言われると、心の中で迷いながらも「～名人」と思いますが、最後に「ありがとうございました。」と言われた時、日本の遊びの素晴らしさ、もっと伝えたいと思う私たちです。

伴地区女性会の活動について

安佐南区伴女性会 豊幾 雅子

今年で66年目になる伴地域女性会は、現在、伴、伴東、大塚地区の三地区合同の女性会となり三年目を迎えております。主な行事は、沼田公民館との共催で伴セミナー三回シリーズと、ふるさと祭り(公民館まつり)の協賛、毎月の特養和楽荘と子育て支援のボアブアリア活動、地域行事への参加、愛パルフェール(子供の下校時の見守り活動)等、充実した毎を送っています。リサイクル材によるEMぼかしの製造(自然農法による土作り)も行っており、住みやすく生きがいのある人生を願っています。

編集後記

猛暑の中、きょうちくとう第62号の編集に悪戦苦闘しましたが、多彩な地域貢献の活動に、感服しました。更なる発展を念願しています。 安佐南区女性